

2022年度 関東高校水球【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2022/7/24】

この試合のプレー集計

1回戦																	
	城北	12	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>1</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>6</td><td>—</td><td>4</td></tr> </table>	1	—	2	1	—	5	4	—	3	6	—	4	14	千葉敬愛
1	—	2															
1	—	5															
4	—	3															
6	—	4															
			PSO														
審判:			木下 晃次														
			高村 尚志														

城北	19	SH数	25	千葉敬愛
	8	速攻数	6	
	9	ST・SB	14	
	4	SH・P誘発アシスト	9	
	22%	GK阻止率	14%	
5	EX反則数	10		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1回戦、屈指の好カードで、僅差のゲームが予想された。

1P

開始早々、城北のマークが甘いところを突いて千葉敬愛⑨八木が先制点をあげる。その後は双方に決め手がない展開が続いていたが、千葉敬愛攻撃を防いだところで自陣ゴール前で退水を奪った城北が攻め上がり、1:55に⑤安田が確実に決めて同点に追いついた。しかし、直後に、城北の攻撃を千葉敬愛⑤染谷がスチールし、トップ位置から①河野の6mシュートで城北1-2千葉敬愛で第1ピリオド終了。予想通りの僅差の出だしとなった。

2P

城北の攻撃がやや強引なところを千葉敬愛が確実にゴールを決める展開となり、一気に差がつく形となった。城北はミスが目立ったことでタイムアウトを取ってリズムの立て直しを図ったが、その直後も1-0のノーマークシュートを千葉敬愛GK⑬横山にファインセーブされるなど、城北がリズムに乗れずに城北2-7千葉敬愛という形で前半を折り返した。

3P

このピリオドの序盤は双方のDFが甘く、取って取られての展開となったが、中盤以降、千葉敬愛側の攻撃が中途半端な形が続き、徐々に城北ペースに。特にゴール前に泳ぎ込んだ②鈴木がペナルティ誘発して自身で決めてからは、俄然、城北全体が乗ってきた形。このピリオド勝負は城北が上回り、城北6-10千葉敬愛で最終ピリオドへ。

4P

城北リズムは継続し、千葉敬愛はやや防戦一方。点差を見ながら余裕をもったの攻撃ができず、そこでのミスをカバーするための中盤での守備陣形が整わない中、城北の怒涛の攻撃が続き、千葉敬愛のパスミスで城北⑥仲澤がスチールしてからの速攻を⑦宮腰がトップ位置から決めてとうとう1点差に(1:25)。その後も千葉敬愛側のミスで城北が同点のチャンスを得たが、最後のシュートが無理な位置からとなり、ここで千葉敬愛側のタイムアウト。ハードプレスをかけてくる城北であったが、千葉敬愛の右サイド攻撃を止められず退水。そこを②櫻井が絶好の位置から決めて(0:02)、勝負は決した。

千葉敬愛は余裕ある試合展開での攻撃と守備との連携に課題を残す形となった。接戦に持ち込んだ城北であったが、序盤のマークの甘さが最後に響いた形となったのは残念であったが、今大会の初戦にふさわしい熱戦を繰り広げた両チームには拍手を送りたい。